

日本植生史学会第 55 回談話会

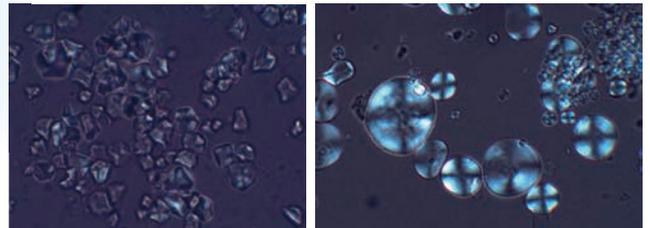
残存デンプン粒分析実習

— すり鉢と和紙のデンプンを見てみよう —

残存デンプン粒分析は、遺跡や遺物の表面から植物の生産物の一つであるデンプンの粒子（デンプン粒）を見つけ、過去の植生や人間の植物利用を復元する方法です。この方法を応用して、近年は古文書や古記録類の紙に含まれた植物性の物質を特定し、紙の生産・流通、使用の実態について研究が進められています。今回の談話会では、市販のすり鉢を用いて、残存デンプン粒分析の試料採取から顕微鏡観察までの基本的な流れを実習します。また、和紙見本を用いて、どのような植物性の物質が紙に含まれているのかを学びます。



講師：渋谷綾子先生
(東京大学史料編纂所)



イネデンプン粒

コムギデンプン粒

日時：2026年5月30日(土)

13:00 ~ 17:00

現地会場：東京大学史料編纂所 1階演習室
東京都文京区本郷7丁目3番1号

開催方式：

現地参加（10名まで、先着順）+オンライン（Zoom, 100名まで、先着順）※事前申し込みが必要です。

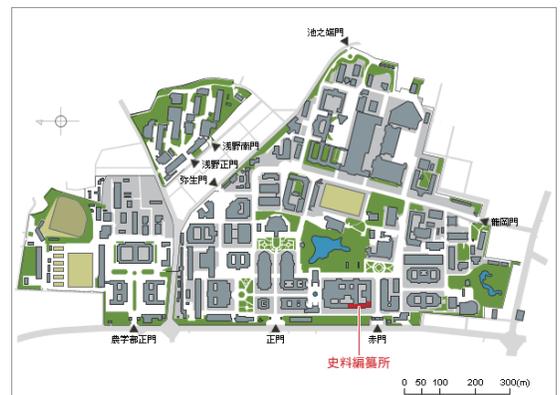
参加費：500円

※植生史学会会員・オンライン受講者は無料

※本参加費は日本植生史学会第55回談話会の運営経費として管理・使用され、共催プロジェクトの収入には計上されません。

対象年齢：高校生以上はどなたも参加可

募集人数：現地会場10名・オンライン100名



アクセス（東京大学史料編纂所）

最寄り駅 東京メトロ丸の内線・都営大江戸線 本郷三丁目駅
東京メトロ千代田線 湯島駅・根津駅
東京メトロ南北線 東大前駅

申し込みはこちら（締め切り：5月15日（金））



<https://forms.gle/UfeKPFjafUzG9mEU9>

問い合わせ先：danwa55@hisbot.jp

主催：日本植生史学会第15期行事委員会

共催：科学研究費補助金（JP23H00011, JP25K00540）、AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業ユースケース創出課題「共創型情報システムによる紙文化財の多角的解析と活用」